

6月のGlobal Sessionのお知らせ

期日：2024年6月23日（日）10：30～12：00

場所：ガレリア3階会議室

ゲスト：サムエル・ジードさん

コーディネーター：亀田博さん

タイトル：「歩んで来た亀岡市国際交流員の5年間」

参加費：600円

参加人数：15名まで（要申し込み：児嶋まで）

e-mail ([kiyomi-kojima@gaia.eonet.ne.jp](mailto:kiyomi-kojima@gaia.eonet.ne.jp))

共催：オフィス・コン・ジュント&亀岡国際交流協会

**サムさんから**

### **歩んできた亀岡市国際交流員の5年間**

「こんにちは。始めまして。お久しぶりです。グローバルセッションで、前回発表したのは、もう4年前になります。スクリプトは一応ありますが、皆さんから質問や意見、気になることがありましたら、いつでも言ってください。

まずは自己紹介から始めたいと思います。私は、カナダ出身のジード・サミュエル・マークと申します。今28歳で、23歳の時に亀岡市の12代目の国際交流員になり、亀岡市役所と亀岡国際交流協会です仕事をしてきました。大学生の頃から国際交流員は憧れの仕事で、申し込み条件（大学を卒業すること、日本語能力試験のN2を取得すること）を果たせるように毎日懸命に学びました。そして、2019年の6月下旬にJETからCIRの採用の通知をもらい、日本語能力試験のN2資格（日本の中2レベルの能力）を取りたての私は緊張感をもって、亀岡市に向けて旅立ち、人生の次の段階に入りました。

まずは、国際交流員とはどのような仕事なのかを少し説明させていただきます。ジェットプログラムのホームページより：「国際交流員（CIR:Coordinator for International Relations)は、主に地方公共団体の国際交流担当部局等に配属され、国際交流活動に従事します。その職務内容から、応募者には高い日本語能力が求められます。」とかいてあります。結構分かりにくい説明ですね。なぜ分かりにくいかというと、国際交流員の役割や仕事内容は自治体、配属、及び状況などによって異なるからです。ツアーガイドや英語教師、地域振興コーディネーターなどの国際交流員が全国のあちらこちらに配属され、様々な目標を果たすために励んでいます。現在、京都府では国際交流員は、10人います。北部4人、中部1人、南部5人。

亀岡市の国際交流員の仕事内容はとても多彩で、翻訳・通訳や姉妹都市交流、イベント企画、生活相談、広報誌編集、外国人住民の困りごとの相談など多岐にわたる仕事をしてきました。今までは、挑戦してみたいという心は何よりも大切でした。

そして国際交流員になって7ヶ月目、新型コロナウイルス感染症の影響で世界が一気に変わり、自分の仕事だけではなく生活なども完全に変わりました。全ての国際交流事業が中止か延期になり、イベント数もとても少なくなりました。同僚との飲み会や国内・海外旅行、外食でさえも全てが「難しい」という時代に入りました。それでも、仕事に対するやりがいは、失わずに頑張りつづけてきました。

今までの活動を年ごとに分けて少しだけ紹介します（内容説明は口頭で）。

- ・ 2019 年、ホストタウンプロジェクトの実施
- ・ 2020 年、多文化共生センターの設立
- ・ 2021 年、新型コロナウイルス感染症の情報発信や英語・やさしい日本語サポート。及び、オリンピックに関わるホストタウンプロジェクトの実施
- ・ 2022 年、イベントの再開（グローバルカフェ 5 回、ワールドフェスタ、オーストリアのイベント等）
- ・ 2023 年、亀岡・スティルウォーター中学生スターディアブロードプログラムの準備や実施など
- ・ 2024 年、今年の姉妹都市交流の準備&ブラジル柔道留学プロジェクト  
もちろん、これ以上の仕事もたくさんやってきましたが、5 年分の仕事を 2 時間だけで伝えきれないはずはありません。

仕事をきちんと果たすことはもちろん大切ですが、日本に住んでいる間の自分の個人的な目的は、日本に住んでいる方々のことをより深く知り、外国人としてだけではなく、社会の一員として、社会貢献活動を行うことです。たくさんの方々のお陰で、今の興味深い日々が送れるようになりました。伝えきれない程、感謝の気持ちの多い私は、日常生活を通じて、その気持ちを、様々に伝えることが、自分の幸せにもなります。亀岡市内の飲食店のほとんどを巡りました。お店で食事するたび、店長をはじめ、スタッフや他の客さんと楽しく話し、人だけではなく、亀岡市との絆も築いてきました。友情は、もちろん大変重要なものですが、亀岡市の料理と食材を味わうためにも外食しています。亀岡市は他の地域に負けていません。京都市に比べたら、値段が半分なのに味が 3 倍。逆に、近所の和食が美味すぎて、和食の自炊を諦めました。

私の話を聞いてくださり、大変感謝しています。国際交流員の活動は、8 月 2 日に終わりますが、次の仕事の拠点も亀岡市になりますので、もう少し長く亀岡や、近隣の町々で活躍できないかなと思っていますので、皆さん引き続きよろしくお願いします。

### Global Session の今後の予定

- 7 月 21 日：レイチェル・クラークさん 2 回目（アメリカ在住・来日予定）
- 8 月：濱田雅子さん（アメリカ服飾社会史研究者・神戸市在住）
- 9 月：秋山昌廣さん（大本職員・ブラジル出身）
- 10 月：玉野井麻利子さん（アメリカ大学名誉教授：「縮小社会」について）
- 11 月：北神圭朗さん（衆議院議員・子ども時代はアメリカ在住）
- 12 月：村田英克さん（生命誌研究館）
- 2025 年 1 月：中野恵二さん（保津川こなこな研究所・保津・むらカフェプロジェクト主宰）
  - 2 月：周悦さん（中国蘇州市出身・亀岡市在住）
  - 3 月：未定